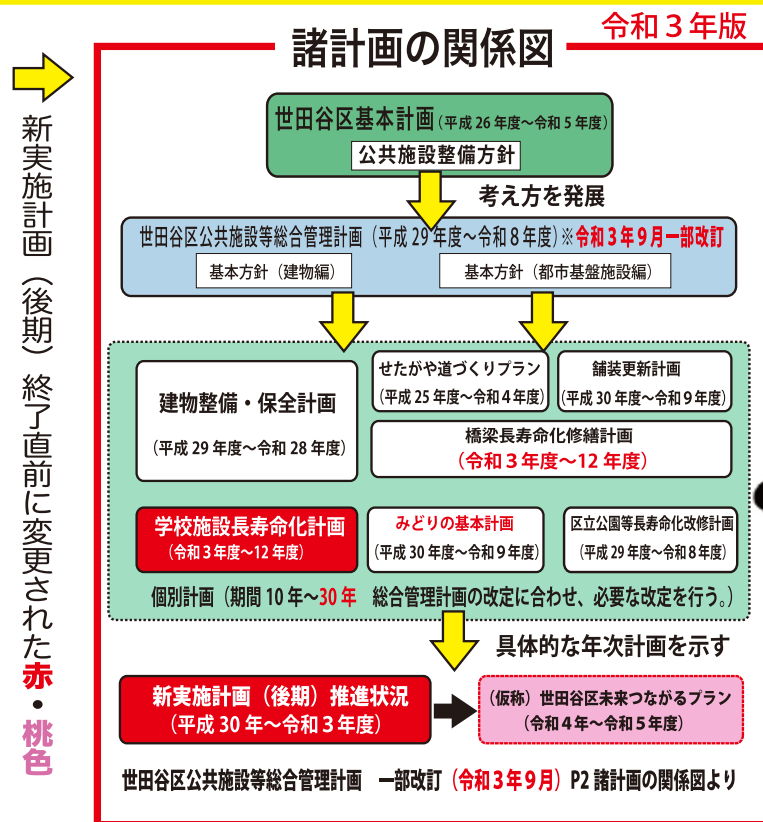
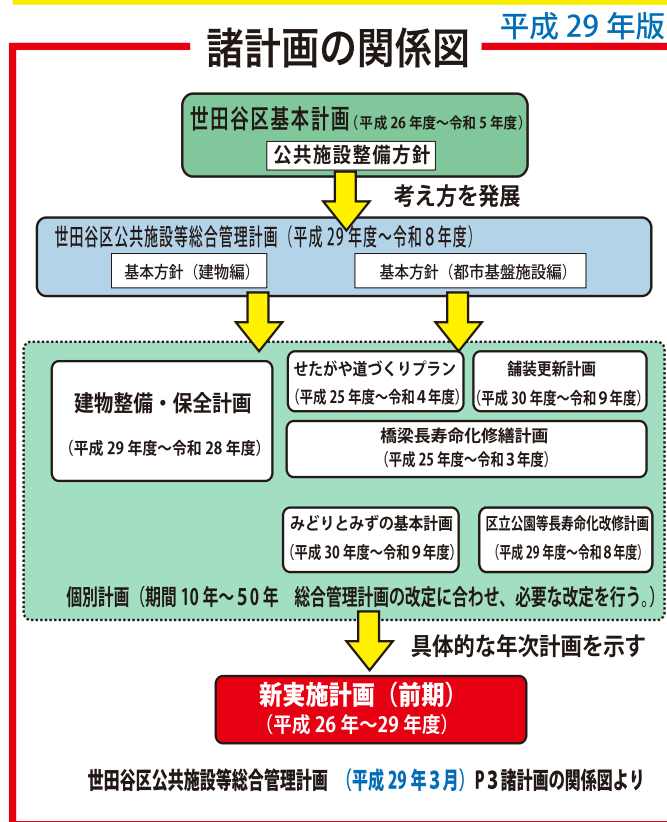


計画がうまくいかないと どうことになるのか

●「新実施計画」が「計画倒れ」に終わったことは何を意味するのでしょうか●実は区民生活との関係を示す図が「公共

施設等総合管理計画」というの中にあります●下図です●左が平成 29 年版の「新実施計画・前期 4 年」です●この段階で計画は前項のように半分以上も進んでいなかったのです●さらに 4 年たち新実施計画（後期）が右の図●

「学校施設長寿命化計画」が新規に、追加され、橋梁も 9 年も延長されることに変更されています●さらに桃色の「世田谷区未来つながるプラン」は、“宿題の居残り勉強”を「達成させるための計画」です●計画の無限ループです。



新実施計画（後期）終了直前に変更された赤・桃色

計画の未達成は “時間泥棒”ではないのか

●昨年（令和 3 年）11 月の議会招集挨拶で保坂区長は「区民に時間を返す」と宣言しています●今はやりの DX 推進について述べたものですが、新実施計画の「計画倒れ」は、**公共施設の整備や保全が遅れ、道づくりが遅れ、橋梁の修繕が遅れ、公園整備が遅れ、ついに学校施設の整備も遅れる**、ということを示します●4 年もしくは 8 年計画で達成します、ということがうまく出来ませんでした、ということです。

行政計画に“締切”が無い 永遠につづく計画行政？

●一昨年から続くコロナ禍で、保健所を中心とした「命を守る奮闘」ぶりは誰しも敬服することでしょう●一方で、区役所の通常業務と「計画行政」の執行は本道です●それも保坂区長が自分で作った「計画」の執行です●計画の「おいしそうに見える」だけを記者会見で発表するだけが区長の仕事でしょうか●感染症に続く危機は東京に迫っているのですが・・・。

首都直下・災害避難所 人口 92 万 使えるのか？

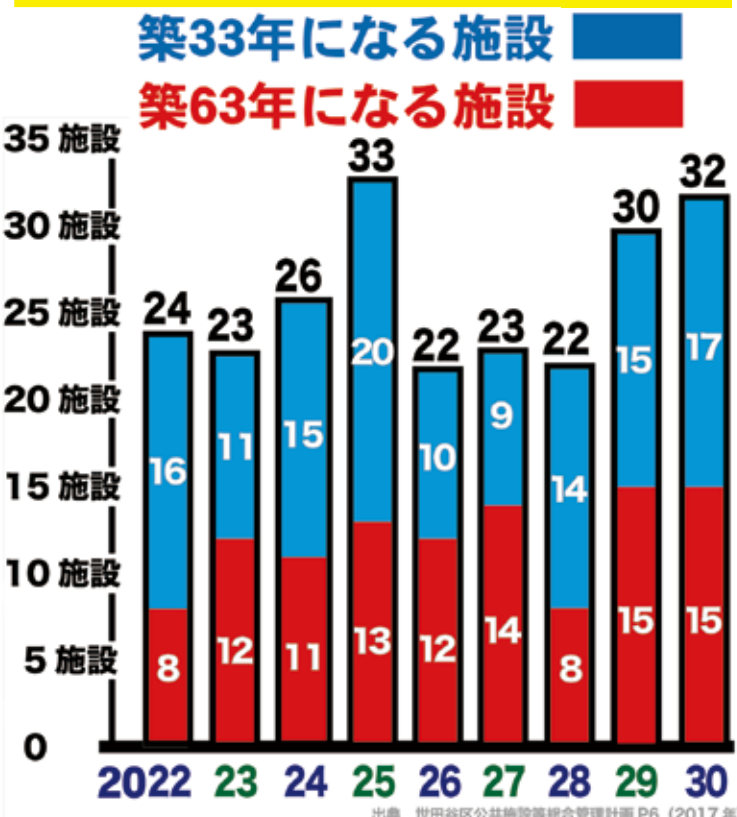
●右図は「新実施計画」の老朽化の進む公共施設系だけに限って示しています●区内には小・中学校（90 校）区立保育園（46 園）、区民会館（7 施設）、区民センター（12 施設）、地区会館（49）、区民集会所（29）、児童館（27）、総合支所（5）、まちづくりセンター（28）等々、約 700 の公共施設があります●かたや保坂区長は黒字財政を誇っています。使う所に税金を使わず貯金だけ増やして健全財政とは？

小中学校 90 校 年 2 校でも 45 年、その他施設 600

●しかも昭和 40 年代、50 年代に建設された施設●次々と“使用期限”が訪れているのです●区長が唱える築 60 年を築 90 年までもたせる「長寿命化」など可能でしょうか●各施設の建設時期から、そのような“基礎”があるとは思えません。「長寿命化」とは究極の問題先送りではないのでしょうか？●30 年後に保坂区長はいるのでしょうか。

老朽化する公共施設が次々押し寄せる 長寿命化という保坂区長の言葉は信用できるか

下のグラフは年々加算・加年されるということ！
2022 年分が解消されないと 23 年にその分が加算・加年される！



誰もわからなかった「行政の速度」 政策見出しは立派！でも“遅刻続出” 保坂区政の実態

●区役所（行政）のやっている仕事の「速度」、実は私たちは知らされていません●施設にせよ条例検討にせよ、出来るのは行政の都合次第●反面、民間には厳しく納期や期間がキッチリ決められています（最たるものは納税）●しかし役所が 1 年で出来ることを 4 年掛けてやっているとすれば、これは新手の「税金の無駄使い」ではないでしょうか●各議員の質問でも、保坂

区長がやるという姿勢を示して 4 年たっても、1 ミリも変わっていない、あるいは 7 年前から言っているのですけど、その後どうなったでしょう系の質疑が頻発！（そりゃそうでしょ、「新実施計画」でさえこんな調子ですから！）
【保坂区長も予算提出や招集原稿を期限に遅れることは定例化しています。議会から何度注意しても・・・個性ですまされるのでしょうか？】

やれば出来た達成率 90%

●事実上、国の事業であるワクチン接種では高齢者接種は 90% 以上の達成率●かなり強引な政府の姿勢もみられたが、やれば出来るのです！職

員は優秀！●おらく保坂区長の指導力では数年はかかっただろうと思います（国の圧力が弱くなると 3 回目接種は 23 区の中で出遅れ、お隣の目黒区から支援の手が・・・感謝）

新実施計画の中の「せたがや道づくりプラン」が「平成 28 年見直し版」で止まっている。進捗しているなら危機改善情報として区民周知が大切。以下は 6 年前記事再掲。

世田谷区の道路事情とリンクしている首都直下被害想定

●タクシーの運転手さんは世田谷には苦労するという話を聞きますが、世田谷区の道路網は下の通りです●なんと「消防活動が困難な地域」なるものがあるのです●それが下図。「せたがや道づくり平成 28 年見直し版」より●消防車がたどりつけなくともホースは届くとのことです、同時多発出火となると糸魚川市のように、手がつけられないのが現状です。



●初期消火に手間取れば延焼は広がります●左図の真ん中あたりの青いたて線が環状 8 号線、それにクロスする小田急線の下、の黒い横線が世田谷通りです●実は、この世田谷通りの北側（上方面）こそが消防車が入りにくい場所なのです●ちなみに世田谷管内（世田谷・玉川・成城）の消防ポンプ車の数は 24 台、平時では一軒制圧、延焼なしで、大丈夫とのこと、ちなみに東京都全体の消防ポンプ車は 677 台。（平成 29 年現在）

●消火器は「邪魔になるどころに置いておく（首都直下標語）」